

授業と評価の年間計画

教科	理科	科目	生物基礎			
使用教科書(発行所)		改訂生物基礎(東京書籍)				
履修条件 対象生徒	必修 普通科 文型 2年					
学習目標	生物や生命現象について観察・実験を行い、自然に対する関心や探究心を高め、生物学的に探究する態度を高めるとともに、基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を身に付ける。					
学習方法	<p><b>【授業】</b> 教科書の内容を予習して授業に臨み、生物基礎を通して生物の基本的な概念や問題解決能力を養う。学習内容については、教科書に細かく掲載されていないものについては補助教材を使用して学習する。実験は『生物基礎実験ノート・問題集』を利用して行い、探究心を高め、科学的に考察する力を身に付ける。</p> <p><b>【家庭】</b> 教科書で予習をし、疑問を持って授業に臨むようにする。授業後は、その日のうちに復習をし、疑問点を解決しておく。</p> <p><b>【補習・その他】</b> 授業の進度や生徒の実情に応じて、適宜補習等を行う。</p>					
学習計画 と ねらい	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>1 学期</p> <p>(1) 中間考査まで ア 生物の特徴</p> <p>(2) 期末考査まで ア 遺伝子とのはたらき イ 生物と遺伝子 ロ 遺伝情報と分配 ハ 遺伝情報とタンパク質の合成</p> <p>2 学期</p> <p>(1) 中間考査まで ア 生物の体内環境の維持 イ 体内環境 ロ 体内環境を維持するしくみ</p> <p>(2) 期末考査まで ア 生物の体内環境の維持 イ 免疫</p> <p>3 学期</p> <p>ア 生物の多様性と生態系 イ 植生の多様性と分布 ロ バイオームとその分布 ハ 生態系とその保全</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物の特性や細胞の共通性と多様性を理解し、生物のエネルギー代謝の共通性を理解する。</li> <li>・DNAの構造について理解する。</li> <li>・遺伝子による形質発現を理解する。</li> <li>・肺炎双球菌の形質転換、バクテリオファージの増殖を理解する。</li> <li>・DNAの複製を理解する。</li> <li>・タンパク質の合成を理解する。</li> <li>・体液や血液のはたらき、心臓の構造、酵素解離曲線、自律神経系・内分泌系による調節を理解する。</li> <li>・免疫機構を理解する。</li> <li>・バイオームの形成過程や世界や日本での分布を理解する。</li> <li>・生態系の成り立ちや生態系内の物質循環とエネルギーの流れについて理解する。</li> </ul> </td> </tr> </table>				<p>1 学期</p> <p>(1) 中間考査まで ア 生物の特徴</p> <p>(2) 期末考査まで ア 遺伝子とのはたらき イ 生物と遺伝子 ロ 遺伝情報と分配 ハ 遺伝情報とタンパク質の合成</p> <p>2 学期</p> <p>(1) 中間考査まで ア 生物の体内環境の維持 イ 体内環境 ロ 体内環境を維持するしくみ</p> <p>(2) 期末考査まで ア 生物の体内環境の維持 イ 免疫</p> <p>3 学期</p> <p>ア 生物の多様性と生態系 イ 植生の多様性と分布 ロ バイオームとその分布 ハ 生態系とその保全</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物の特性や細胞の共通性と多様性を理解し、生物のエネルギー代謝の共通性を理解する。</li> <li>・DNAの構造について理解する。</li> <li>・遺伝子による形質発現を理解する。</li> <li>・肺炎双球菌の形質転換、バクテリオファージの増殖を理解する。</li> <li>・DNAの複製を理解する。</li> <li>・タンパク質の合成を理解する。</li> <li>・体液や血液のはたらき、心臓の構造、酵素解離曲線、自律神経系・内分泌系による調節を理解する。</li> <li>・免疫機構を理解する。</li> <li>・バイオームの形成過程や世界や日本での分布を理解する。</li> <li>・生態系の成り立ちや生態系内の物質循環とエネルギーの流れについて理解する。</li> </ul>
<p>1 学期</p> <p>(1) 中間考査まで ア 生物の特徴</p> <p>(2) 期末考査まで ア 遺伝子とのはたらき イ 生物と遺伝子 ロ 遺伝情報と分配 ハ 遺伝情報とタンパク質の合成</p> <p>2 学期</p> <p>(1) 中間考査まで ア 生物の体内環境の維持 イ 体内環境 ロ 体内環境を維持するしくみ</p> <p>(2) 期末考査まで ア 生物の体内環境の維持 イ 免疫</p> <p>3 学期</p> <p>ア 生物の多様性と生態系 イ 植生の多様性と分布 ロ バイオームとその分布 ハ 生態系とその保全</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物の特性や細胞の共通性と多様性を理解し、生物のエネルギー代謝の共通性を理解する。</li> <li>・DNAの構造について理解する。</li> <li>・遺伝子による形質発現を理解する。</li> <li>・肺炎双球菌の形質転換、バクテリオファージの増殖を理解する。</li> <li>・DNAの複製を理解する。</li> <li>・タンパク質の合成を理解する。</li> <li>・体液や血液のはたらき、心臓の構造、酵素解離曲線、自律神経系・内分泌系による調節を理解する。</li> <li>・免疫機構を理解する。</li> <li>・バイオームの形成過程や世界や日本での分布を理解する。</li> <li>・生態系の成り立ちや生態系内の物質循環とエネルギーの流れについて理解する。</li> </ul>					
評価規準	知識・理解	技 能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度		
	自然の事物・現象について、基本的な原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	観察・実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に整理することができる。	自然の事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、科学的に考察し、的確に表現することができる。	自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとする科学的態度を身に付けている。		
評価方法	定期考査、授業態度、課題・提出物・小テストなどを総合的に判断して評価する。					
その他	実験においては、主体的・積極的に取り組み、観察力や論理的思考力、器具の操作に関するスキル等を高める。					